

## 博士課程前期課程

神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程は、グローバル化の進展する現代社会の諸課題に対応するため、深い異文化理解能力と自在なコミュニケーション能力を有し、豊かな学識と創造的な研究能力を備えた人材を育成することを目指す。この目的を達成するため、以下に示す方針に従って修士(学術)の学位を授与する。

## 学位:修士(学術)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、国際文化学研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科博士課程前期課程に2年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた業績を上げたものについては、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、本研究科学生が修了までに身につけるべき能力を次のとおりとする。

### 〈文化関連専攻〉

1. 文化が多様であること、それらの文化が相互に影響しながら変容するものであることを理解し、異文化間の関係性を多角的に探究することができる能力。
2. 高い専門性の上に立った学際的研究を行うことができる能力。

### 〈グローバル文化専攻〉

1. 言語情報コミュニケーションの動態を深く理解し、現代のグローバル社会のさまざまな課題に取り組むことができる能力。
2. 高い専門性の上に立った学際的研究を行うことができる能力。

## 博士課程後期課程

神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程は、グローバル化の進展する現代社会の諸課題に対応するため、深い異文化理解能力と自在なコミュニケーション能力を有し、豊かな学識と創造的な研究能力を備えた人材を育成することを目指す。この目的を達成するため、以下に示す方針に従って博士(学術)の学位を授与する。

## 学位:博士(学術)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、国際文化学研究科は以下に示した方針に従っ

て当該学位を授与する。

- 本研究科博士課程後期課程に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、優れた研究業績を上げたものについては、在学期間を短縮して修了することができる。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、本研究科学生が修了までに身につけるべき能力を次のとおりとする。

#### 〈文化関連専攻〉

1. 多様かつ相互に影響しながら変容する諸文化の構造と動態を究明し、文化研究の先端的な領域を主体的に開拓することができる能力。
2. 高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行うことができる能力。

#### 〈グローバル文化専攻〉

1. 言語情報コミュニケーションの諸課題を探求し、グローバル化する現代世界を多角的に研究することができる能力。
2. 高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行うことができる能力。